



大明小学校

校長室から

令和5年3月16日

No. 12

文責 校長 三井 保

最高の卒業式を！！

先日、3学期が始まったばかりかと思っておりましたが、あっという間に3月に入り、明日、卒業式を迎えることとなりました。6年生は、卒業式に向け、ひと月ほど前から準備を始めました。卒業式の内容に関するだけでなく、大明小学校への感謝の気持ちを表す奉仕作業もしてくれました。私をはじめ、先生方に校舎内外で整備して欲しい箇所を聞き、リクエストされた場所を分担して3月9日に1時間かけてきれいにしてくれました。作業の途中、一緒に掃き掃除をしていると「校長先生ありがとう！」と元気に言ってくれたり、「よろしく頼むよ！」と声をかけると「任せてください！」と元気に応えてくれました。とてもすがすがしくうれしい気持ちで一杯になりました。証書授与の練習では、緊張しながらも6年間学び続けてきた「小笠原流礼法」に則り、礼儀正しく証書を受け取ってくれる姿に感心しました。当日の合唱曲は2学期中に選曲し、伴奏者は冬休み中も練習を重ねてきました。パート練習を重ね1月後半には合わせの練習に入り、そのタイミングで一度聞かせてもらいました。その時は、47人の気持ちも揃わず、音取もままならない様子で「これで大丈夫か？」と心配になってしまいました。その後、甲西中学校音楽科の坂本先生の指導を仰ぎながら音取を徹底し、練習を重ねてきました。14日の2校時、私からリクエストし当日披露する2曲を聴かせてもらいました。47人と指揮をする担任の先生方の気持ちが一つになり素晴らしいハーモニーを届けてくれました。以前とは全く違う合唱に胸が熱くなりました。6年生の「素晴らしい卒業式にするぞ！」という気持ちが伝わってきました。明日ご列席くださいます保護者の皆様、小学校時代の素晴らしい「最後の授業」を楽しみにしていきましょう。

素晴らしい評価をいただきました。

本校、ホームページにも掲載させていただいておりますが、令和4年度の学校評価の学校関係者評価が石川正人評価委員長をはじめとする7名の評価委員の皆様方により行われました。保護者の皆様方からも肯定的なご意見を多数いただきましたが、評価委員会のメンバーの方々からも日頃の教育活動に対する温かい評価と激励を受けました。これも、本校教育活動に対し、ご理解・ご協力をいただいている保護者や地域の皆様のおかげです。本校の長所は次年度以降、より一層高めていくよう頑張りたいと思います。一方、課題点の中で「学校や先生の考えがわからない、見えないことが、保護者の不安につながる。共通理解やコミュニケーションを取り合える機会や方法を考え実践を・・・。」というご意見をいただきました。コロナ感染症のため、学校開放の機会を作れなかったことに起因することが大きいと思いますが、来年度はこのことを全職員で意識し、意思疎通を大切にしながら学校・家庭・地域の連携を強化していきたいと考えています。また、評価委員長の方より教職員と保護者の皆様へのメッセージが寄せられました。私たち教職員にとって大変励みになり、今まで以上に、各御家庭と協力しながら素晴らしい大明小学校を創っていくモチベーションにつながりました。保護者の皆様も是非、ホームページで学校評価の項目に目を通してくださいますようお願いいたします。

学校生活におけるマスクの扱いについて

3月13日に一般社会においてはマスクの着用は個人の判断に任されるようになりましたが、学校生活におきましては、4月1日、新年度スタート後になりますので、マスクの着用については3月いっぱい今までと同じ扱いになります。新しい通達が入り次第、詳しくお伝えします。なお、卒業式は例外となります。